

# お伊勢さまと氏神さま・鎮守さまのお神札をおまつりしましょう

## ◆ 伊勢神宮のご祭神

伊勢神宮には皇祖(皇室のご祖先の神)である天照大御神さまがまつられ古くから歴代天皇の深いご尊崇と、国民からは大御祖神さまとして篤い崇敬が寄せられて来ました。



お伊勢さま  
伊勢神宮

現在伊勢神宮は、全国約8万の神社を包括する神社本庁に所属する一方で、特別な立場から「本宗」と仰がれ、各地の神社を通じて神宮大麻が頒布されるなど、奉賛の真心が捧げられています。

伊勢神宮に参拝することを参宮またはお伊勢参りといえます。「一生に一度はお伊勢参り」といわれ、昔から人々が憧れを抱く我が国最高の聖地として、全国各地より多くの方々が参拝されています。

このように国民がひとしく大御祖神さまと仰ぐ天照大御神さまのご神徳は天上に輝く太陽のように広大無辺で、すべてのものにひとしく恵みの光を降りそそがれます。

## ◆ 伊勢神宮のお神札

神宮大麻は全国の神社を通して頒布される伊勢神宮のお神札です。江戸時代までは様々な形式のお神札がありましたが、明治天皇の思召しで、国民が日々天照大御神さまを拝礼する「しるし」として明治5年4月1日に神宮大麻は誕生し、令和4年は頒布150年の節目の年となります。

神宮大麻には皇室のご繁栄、日本全体の発展と国民の幸福の祈りが込められていますので、全家庭ひとしくこれをおまつりして感謝を捧げるように頒布されて

いるのです。

国民が心をひとつに神宮大麻を通して神の恵みと祖先の恩とに感謝を捧げることによって、日本の美しい国柄と崇高な国民道徳が発展してゆくのです。



神宮大麻 神宮中大麻 神宮大大麻

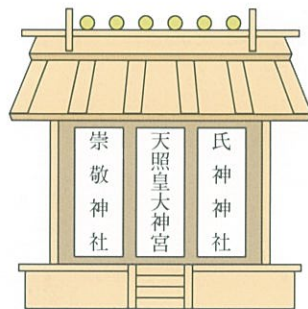
## ◆ お神札のまつり方

神棚に三つ扉がある場合は、中央に神宮大麻、その向かって右に氏神・鎮守さまのお神札、向かって左にその他崇敬する神社のお神札をおまつり下さい。

神棚の扉が一つの場合は、最も手前を神宮大麻とし、そのすぐ後に氏神・鎮守さまのお神札、その後その他崇敬する神社のお神札を重ねておまつりします。

お神札は神棚におまつりすることが理想ですが、神棚が無い家庭では、ふさわしい場所にお神札が南か東を向くようにおまつりされるとよいでしょう。お神札を重ねる場合には、神宮大麻が一番手前、次に氏神・鎮守さま、次にその他の神社とするのが一般的です。

### 横に並べてまつる場合



### 重ねてまつる場合



〒五六一〇〇三三  
伊勢市宇治館町一  
神宮司庁

☎五九六一二四一一一  
<https://www.isejingu.or.jp/>

〒一五一〇〇五三  
渋谷区代々木一―二  
全国神社総本庁  
☎三―三三七九一八〇一一  
<http://www.jinjancho.or.jp/>

氏神さま・鎮守さまの調べ方  
各地域には町内や大字などに氏神さま、または鎮守さまと呼ばれる神社があり、各地域をお守りになっています。神宮大麻は、毎年氏神さま・鎮守さまからお受けになるのが基本です。神宮大麻と神宮歴の頒布について詳しくは、お近くの氏神さまや各都道府県にある神社庁におたずねください。神社庁の連絡先は「神社本庁」のホームページより「神社本庁のご案内」↓「神社庁一覧」をご覧ください。